

経営比較分析表（令和元年度決算）

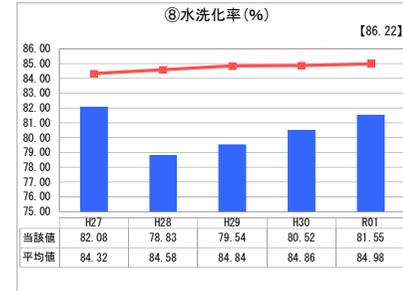
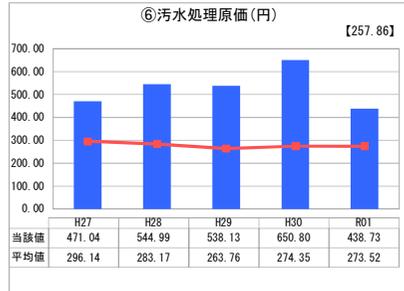
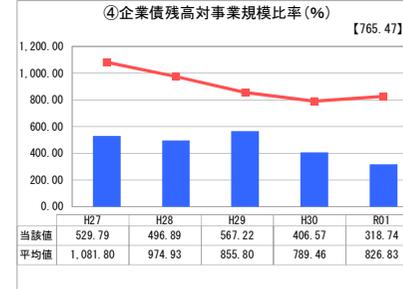
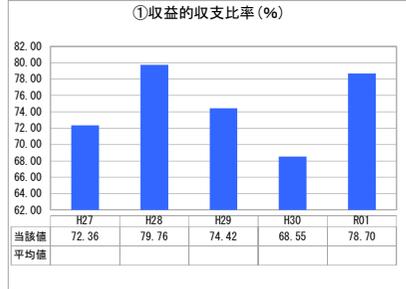
岩手県 一関市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.30	96.94	3,300

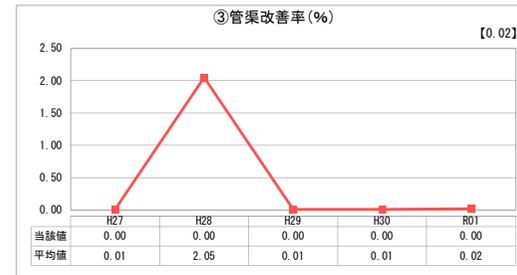
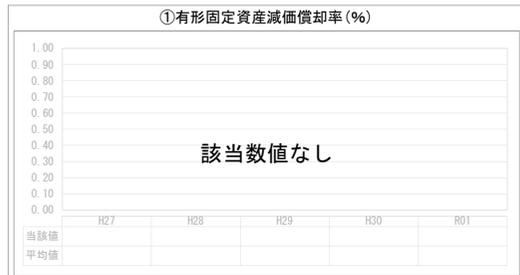
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
115,426	1,256.42	91.87
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
3,772	1.86	2,027.96

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業は整備が完了し、現在は維持管理を行っています。施設の老朽化による修繕や更新など、維持管理費が増加していることや、水洗化率の伸び悩みなどにより、維持管理費を使用料で賄うことができず、一般会計から繰り入れている状況です。

平成28年度に全体使用料の約3割を占める黒沢処理区を公共下水道に接続したことにより、全体的に、収益的収支比率・経費回収率は減少傾向、汚水処理原価は増加傾向にあります。

一方で、令和2年度から公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法を全部適用したことにより、令和元年度は3/31をもって打切決算を行ったため、各種指標が例年と異なる数値を示しています。

収益的収支比率・経費回収率・汚水処理原価について、大幅な改善が見られますが、これは、打切決算に伴い費用の一部が未払金となり、総費用減少したためです。

水洗化率は改善傾向にありますが、人口減少などにより使用料収入の増加が見込めず、修繕や更新に係る費用が増加する状況であることから、処理場の地理的条件に応じて、公共下水道への統合や、施設のダウンサイジング、管理体制の効率化などに取り組みます。

2. 老朽化の状況について

供用開始から令和元年度末で26年が経過しています。今後、平成26年度に策定した最適整備構想に基づき計画的な施設更新や改築を行いますが、急速に進む人口減少や将来の需要予測を見据え、施設の適正化について検証しながら、公共下水道への統合や、ダウンサイジングなどに取り組みます。

全体総括

持続的で健全な汚水処理事業の経営のため、中長期的な財政見通しを基に、効率的で安定した汚水処理事業の経営に向け、下記の取組を進めます。

- ① 企業会計移行後の経営状況の見える化を図るため、決算状況を踏まえた経営戦略の見直し
- ② 将来的な経営を見通した施設の統廃合、組織体制や使用料の見直し
- ③ 最適整備構想を基本とした、公共下水道への統合や、施設のダウンサイジング

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。